



加賀市指定史跡

ぶんぎょうこようせきぐん  
分校古窯跡群

当時の登り窯の様子（イメージ図）



加賀市指定史跡

さかえだにまるやまよこあなぼぐん  
栄谷丸山横穴墓群

栄谷丸山横穴墓群入口の様子



分校古窯跡群



分校古窯跡群出土品

分校町の南端、通称湯ノ谷といわれる谷に面した丘陵の南斜面にある、六世紀後半頃の須恵器窯跡です。昭和四七年、市営不燃物処理場造成工事中に見られました。その重要性から計画変更されて保存されました。

窯跡は五基確認されており、その内三基が発掘されています。構造は穴窯といわれる登窯で、三号窯跡は全長約一三mを測る大きな窯でした。この窯跡群は市内最古の窯跡です。出土品は須恵器の甕・壺・高坏・蓋坏などで、勅使町の法皇山横穴古墳群から出土した須恵器もここで焼成されたものです。



出土品（市指定文化財）



栄谷丸山横穴墓群

栄谷町と宇谷町の境にある通称丸山にある横穴群で、昭和三二・三三年発掘調査され、数多くの須恵器が副葬されていました。出土品も市指定文化財になっています。法皇山より少し遅れて造墓が始まり、法皇山より早く終焉したようです。

他に松山町にも一基確認されています。

